

三次市雨水管理総合計画策定に係る検討委員会（第1回）の要旨

三次市雨水管理総合計画の策定にあたり、関係部局が緊密に連携し、浸水対策など多角的な視点から実効性の高い計画とするため、「三次市下水道事業等構想策定検討委員会」に諮問し、集中的な審議・調整を行いました。

議事の要旨は以下の通りです。

■第1回 検討委員会（三次市下水道事業等構想策定検討委員会）

日 時：令和7年12月25日（木）15：30～16：30

場 所：三次市役所本館 608 会議室

参加者：委員長：副市長

委 員：総務部長、経営企画部長、地域共創部長、産業振興部長、建設部長
事務局：下水道課長、下水道課建設係長、担当係員

1. 会議の概要

- ・「雨水管理総合計画」の概要説明と方向性についての議論
- ・計画における目標降雨確率（10年確率か平成30年豪雨か）の設定
- ・具体的な整備計画の記載度合い

2. 主な議事および議論

① 目標降雨確率について

（事務局）従来通り「10年確率（温暖化を考慮し従来比1.1倍の雨量）」を基本とし、対策により床上浸水解消をめざす。

（委 員）国が実施している畠敷地区の検討では平成30年豪雨を対象降雨としており、10年確率での検討では、これまでの前提条件と整合が取れないのではないかと。

（事務局）平成30年豪雨や1000年確率も本計画内でシミュレーション（照査）は行う。費用対効果等を勘案し、最終的には本委員会で判断する。

② 整備計画の具体性について

（事務局）計画書には地区ごとの優先度や期別（短・中・長期）、対策案を記載する。

（委 員）ある程度何年にどこをどう対策するかという具体性が必要ではないかと。

3. 次回以降への課題

- ・計画降雨をどこに設定するか（10 年確率か、平成 30 年豪雨か）。
- ・各パターンでの概算事業費や他市事例などの客観的な判断材料を揃え、今後の委員会で議論・判断する。